



組合員の購読料は
組合費に含まれます

荒川区西日暮里2-55-1
国鉄労働組合東京地方本部
発行責任者 鎌田博一
編集責任者 常盤達雄

No.1766

2014年

1月5日

2014年

安全・安定輸送と労働条件改善に全力をあげよう!

組合員・家族の皆さん、新年あけましておめでとうございます。年頭にあたり、地方本部を代表し挨拶を申し上げます。はじめに、今日的な政治反動と平和と民主主義の課題についてです。

安倍政権は、財界と一体となり公共投資拡大とインフレを誘導させる経済政策を推し進め、雇用規制緩和等の労働法制の全面改悪へと突き進んでいます。また、アベノミクスによる円安株高で景気回復をしたと国民を欺瞞し、日本を「世界で一番企業が活動しやすい国」にすると言明していますが、労働者・勤労国民には実感はなく、生活必需品の高騰で家計への負担が増すなど、国民生活の破壊に拍車をかけています。そして、本年四月からの消費税増税、社会保険制度の切り下げなど、国民に背を向けた政治姿勢に終始しています。

福島第一原発では放射性物質を垂れ流し、海外からもその無責任さが指摘されているにもかかわらず、原発再稼働・輸出政策を推進するなど、地球環境を脅かす行為を強行しようとしています。原発事故は、健康を奪い、生活を奪い、地域の文化と歴史を奪い、家族と多くの人々とのつながりを奪いました。私たちは、大震災と原発事故を風化させることなく、原発ゼロの実現に向け、エネルギー政策の転換と原子力発電所の段階的廃炉を実現しなければなりません。

また、積極的平和主義と称して「集団的自衛権の行使」を想定した日本版NSC・国家安全保障会議の設置と民主主義の根幹である「国民の知る権利」をも破壊する特定秘密保護法案を強行可決する暴挙など、憲法改悪を最大の使命と位置付けているこ



日常的な取り組みの強化を 執行委員長 鎌田博一

とは明白です。さらに、オスプレイの追加配備と防衛大綱見直し、武器輸出三原則の廃止など、日本が再び「戦争の出来る国」へ歩むことは間違いありません。安心できる社会の実現に向け、全国各地で闘う広範な仲間との連帯、共闘体制の確立など壮大な戦線を築き上げるために、全力で取り組みの強化を図らなければなりません。

次に、最重要課題である組織強化・拡大の取り組みについてです。地方本部は、昨年一年間で二名の新たな仲間を国労へ迎え入れることができました。平成採の青年から、「最後は国労で！」とシニア世代の仲間、新規採用者をはじめプロパー社員に至るまで幅広い年代層、雇用形態の異なる仲間の復帰・加入など、拡がり

を続けています。このことは、職場や仕事の中心軸となり、共に働く仲間の声を大切に、世話役活動や職場改善を進める分、職場活動のあらゆる取り組みが仲間との信用・共感として表れ、拡大に結びついてきた結果です。すべての経験と課題を組織的に検証し、日常的な取り組みをさらに継続

させ、粘り強く、したたかに国労加入を訴え、組織拡大のさらなる運動の前進と組織展望をつくり出していかなければなりません。引き続き、「闘争指令1号」の意義と重みを全組合員が再確認し、すべての闘いを組織強化・拡大に集約していくことが求められています。地方本部としても、各級機関と連携を図り、より奮闘していく決意を改めて明らかにしておきたいと思

次に、安全・安定輸送の確立と職場労働条件改善の取り組みについてです。安全・安定輸送こそが、鉄道事業にとって最大の使命です。JR北海道で連続する事故は、安全管理体制の欠如と公共交通機関としての責務を果たしているとはいえず、社会的にも厳しく指摘されています。また、JR

各社の大規模な輸送障害やシステム障害、

重大事故の多発は依然として解消されず、死亡事故を含む労働災害の発生、労働条件の劣悪化など、安心して働き続けられる環境が奪われ続けています。こうした背景には、規制緩和をはじめ、コスト削減を基本とした相次ぐ効率化・外注化、業務委託の推進、大量退職に伴う技術断層の拡大やシステム化・機械化に偏重した施策が大きな要因だと言えます。

「安全が最優先される」企業風土の定着と合わせ、「安全の番人・点検者」としての労働組合の任務と役割が極めて重要になってい

ます。また、不安定雇用であるグリーンスタッフの正社員化を求める制度改善、プロパー社員等の待遇改善と労働条件・職場環境改善の取り組みについてもより一層強化しなければなりません。

JR貨物会社においては、「賃金抑制計画」をはじめ既成事実化する過去最低の夏期・年末手当の回答、そして線路使用料などの構造的矛盾を放置したまま、一方的に労働者のみに犠牲を強いる経営体質は、断じて許されるものではありません。引き続き、「安全・仕事総点検運動」を年間闘争として定着させ、すべての職場労働条件向上の実現に向け、精力的に全職場からの取り組みを展開していきたいと考えています。

最後に二〇一四年春闘は、ベースアップをはじめとする全国統一要求の実現、安全・安定輸送の確立と職場労働条件改善、組織強化・拡大の取り組み等と固く結合させ、全組合員参加型の春闘として展開していくことが切に求められています。また、大幅賃上げで消費不況からの脱却、日本社会の貧困と格差の根絶・是正、消費税増税・TPP参加反対、労働者派遣法の抜本改正など働くルールの確立、改憲阻止、原発・平和と民主主義を守る闘いなど、多くの国民的諸課題とも連動させた取り組みになることは明らかです。地方本部としても、職場からの春闘再生と地域春闘のさらなる強化に向け、全力を上げていきたいと思

います。当面する諸課題の実現に向け、組合員・家族の皆さんの先頭に立つ決意を申し上げます。二〇一四年新年のご挨拶とします。

春風献上

国鉄労働組合東京地方本部

執行委員長 鎌田 博一

執行副委員長 稲荷 靖

書記長 松川 聡

財政部長 田中 克幸

組織部長 小澤 一雅

教宣部長 常盤 達雄

政治部長 中澤 和夫

福対部長 山田 博樹

法対部長 恒本 肇

調査部長 横倉 一夫

執行委員 岡野 嘉明

執行委員 岸本 靖夫

会計監査員 広瀬 裕二

” 岡田 直之

” 吉田 茂

青年部長 中嶋 健太

青年副部長 木村 洋希

書記局 新井 清一

” 井口 栄子

” 小川美智子

【アベニール(株)東京営業所】
社員 市村 和子

【国労議員団】
団長 高橋 勝

【国労家族会(東京地連)】
会長 丸山みどり

【鉄道退職者会】
会長 羽切 信夫

国労加入 大宮地区本部 武蔵野線駅分会 歓迎会

国労大宮地区本部・武蔵野線駅分会は、安全安定輸送や、労働条件改善など多くの報告がされ、組織拡大が最重要課題であることを確認した。本日安本さんを迎え入れる事は喜ばしいとともに、運動に元気をいただいた「などのあいさつがされ、分会長の初山さんの乾杯で歓迎会が始まった。

そのあと、地区本部足利執行委員や、営業協議会佐藤議長、青年部から松吉さん(さいたま新都心駅)、元職場新宿駅の副分会長池田さんなど、多くの方からのあいさつが続いた。その後安本さんから「新宿駅にいたときは他労組にいたが、堅苦しくていやだなと思っていた。仕事を教えてもらうのも、明けていろいろ誘ってくれるのは国労の方だった。社会人採用に落ち、ステーションサービスに入り三郷駅に来て、あた

歓迎会は東浦和駅細川さんの司会で二時に始まり、まず東京地本鎌田委員長から「東京地本も最大の課題は組織拡大。今年も多くの国労加入。新規採用者から、最後は国労でとエルダー社員、今回の安本さんや神奈川の佐山さんのようにステーションサービスからも国労を選択していただいた。今後も皆さんと連携・団結しながら全力を上げていきたい」などのあいさつがされた。続いて大宮地区本部中山委員長からは「地区本部は一〇月に大会を開催し、

連載企画 分会紹介



御茶ノ水駅 分会

国労御茶ノ水駅分会は現在一二名の組合員で構成されています。

御茶ノ水駅は一日の乗車人員は一〇万人で、中央快速線と総武緩行線の乗換えや東京メトロと接続ができる交通拠点です。周囲には大規模病院が多く、通院をする高齢者、車イスなどの交通弱者が多く利用する駅ですが、現在はエレベーター・エスカレーターが無く、ホームも狭く段差もあり不便な駅です。ようやく二〇一八年度までにエレベーター・エスカレーターを設置する予定で工事が始まり、同時に行われている駅舎耐震工事も二〇二〇年度までに駅全体の工事が完了する予定になっています。

多くの職場で問題になっていますが、GS社員は駅で欠かすことのできない存在です。しかし、雇用不安の中で仕事をしています。現在一〇名のGS社員がいますが、一日も早く正社員として安心して働ける労働条件を勝ち取っていかねばなりません。



この分会も同じ問題を抱えています。全員が五〇歳以上で、高齢化が進む中、若い仲間をはじめとする組織拡大をはかる事が重要課題となっています。分会としては、飲み会、野球や旅行など組合員だけではなく、退職者・他労組の仲間を含め交流を行い、日常の信頼を深める努力を行っています。仲間の声を拾い、組合の枠を超え、職場の問題点を共有化し、組織拡大への自信と確信を持ち、働く者の「生命と健康」「生活と健康」を守る労働条件の改善をはかっています。

今後も御茶ノ水駅分会は一丸となって頑張っていきます。

フクシマ 学習交流会

東北大地震から二年八ヶ月が経過したが、福島第一原発を抱える福島県において、国労本部は一月二日〜三日、現地視察を兼ねた交流会を開催した。

全国から四〇名を超える仲間が参加し、東京地本からも鎌田委員長、松川書記長、野佐根委員長(上野)、服部書記長(神奈川)、小林書記長(大宮)の五名が参加した。

二日は郡山駅に集合し、バスをチャーターし、一時間ほどで広野インターから一般道に降りたが、目に入ってきた景色は積まれた黒い袋の山で、除染のため表面を削り取った土を入れた袋であった。

木戸駅では、除染作業を中心に軌道工事が進められていたが、ここでも黒い袋が積み重ねられており、新しいパラソルが光っていた。作業をしていたのは、東京方面から派遣された保線作業員とのことであった。

私たちは、次の目的地富岡駅に向かった。持参した線量計が、鳴り止まず、毎時〇・四〜〇・九μSvと高線量であった。線量限度は、一般人で年間一mSvとされており、毎時〇・二三μSvに相当する。この地域の



「がん」の保障 《生きるためのがん保険Days(デイズ)》

スタンダードプラン 入院給付金日額 10,000円の場合

| | | | |
|------------------------------|-----------|--|-----------------------------|
| 初めて診断確定されたとき | 診断給付金 | がんの場合 上皮内新生物の場合 | 一時金として 100万円 一時金として 10万円 |
| 入院したとき | 入院給付金 | 1日につき | 10,000円 |
| 通院したとき | 通院給付金 | 1日につき | 10,000円 |
| 手術したとき | 手術治療給付金 | 1回につき | 20万円 |
| 放射線治療を受けたとき | 放射線治療給付金 | 1回につき | 20万円 |
| 抗がん剤治療を受けたとき (上皮内新生物は対象外) | 抗がん剤治療給付金 | 抗がん剤治療を受けた月ごとに 乳がん・前立腺がんのホルモン療法のととき (すべての保険期間を通じ通算600万円まで) | 1カ月 10万円 1カ月 5万円 |

プレミアムサポート 訪問面談サービスと専門医紹介 (このサービスは、株式会社法研が提供するサービスです)

【引受保険会社】 アフラック東京第三法人営業部
〒163-0456 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル
当社保険に関するお問い合わせ・各種お手続き

【募集代理店】 アベニール株式会社
〒105-0004 東京都港区新橋5-15-5 交通ビル3F

コールセンター 0120-5555-95 電話 03-3437-6810 ファックス 03-3437-6822

「生きる」を創る。Aflac

◆月払保険料 (団体取扱) (2011年4月1日現在)

生きるためのがん保険 DAYS(デイズ) スタンダードプラン
入院給付金日額 10,000円 定額タイプ
保険料払込期間: 終身 (抗がん剤治療特約は10年更新)

| | | | | |
|----|--------|--------|--------|---------|
| | 35歳 | 45歳 | 55歳 | 65歳 |
| 男性 | 3,656円 | 5,608円 | 9,360円 | 15,190円 |
| 女性 | 3,734円 | 5,274円 | 6,864円 | 9,048円 |

〈抗がん剤治療特約〉の更新後の保険料は更新時の年齢・保険料率によって決まります。

【取りまとめ先】 アベニール株式会社 東京営業所
〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-55-1 国労東京地方本部内

JR電話 054-2548 ファックス 03-3806-9275
電話 03-3806-9264

©詳しくは、パンフレット(契約概要)をご覧ください。 AF007-2011-0186 4月25日